

## 新シリーズ? ロングトレイルを歩く 古の都に触れる京都周回トレイル

実施日 2016年11月20日(日)~22日(火)

天候 11/20-21曇・11/22 晴

リーダー 涌井 良明

参加者 涌井良明、山崎富美恵、安田三恵子、石附智江、宇野輝代、関塚七海、徳山敬子、石附恵理子、清水久子、宮崎敏男 計10名

費用 JR26,160円・比叡山鉄道520円・ケ-ブルカー1,080円・京都<sup>バス</sup>510円  
宿泊13,400円 合計28,270円

タイム 11/20 京都(9:47~10:08<sup>乗</sup>)稲荷駅(10:12~20)四辻(11:10~15)休(12:35~13:05昼食)清水山(14:00~10)東山山頂公園(14:30~40)宿舎・丸家(15:40)

11/21 宿(7:00)蹴上(7:50)日向大神宮(8:00~10)七福思案処(8:30)大文字山(9:48~53)火床(10:10~20)銀閣寺下白川疎水通(11:15~45昼食)瓜生山(13:08~18)白鳥山(14:20~30)石鳥居(14:20~30)<sup>乗</sup>比叡駅(15:45~16:05)<sup>乗</sup>八瀬駅(16:15)八瀬比叡山口(16:10~20<sup>乗</sup>)出町柳駅(16:45)~夕食~宿(19:00)

11/22 宿(7:45)出町柳駅(8:10~16<sup>乗</sup>)八瀬比叡山口~<sup>乗</sup>比叡山口(8:40~9:05)<sup>乗</sup><sup>乗</sup>比叡駅(9:15~25)釈迦堂(11:05)玉体山(11:55~12:25昼食)横高山(12:40~50)水井山(13:15~20)仰木峠(14:00~05)大原・戸寺BS(15:05~13<sup>乗</sup>)京都駅(16:45解散)

11/20 紅葉シーズン真っ只中の日曜日、京都駅はごった返していた。乗換えた奈良線も観光客で通勤電車並みだ。但し、一つ目の東福寺、二つ目の我々も降りた稲荷駅で半分以上は降りたかも知れない。京都一周トレイルはこの駅前から始まる。では、スタート!

参道から本殿に手を合わせ、奥の千本鳥居へ。入り口付近は年末のアメ



横の様相だ、我々もすごい人の波に、揉まれながら鳥居を進む、外国人の傍若無人の自撮り攻撃

にも悩まされながらのろのろと移動する。それにしてもびっしりと立ち並ぶ鳥居に驚嘆せざるを得ない。奥社を過ぎて徐々に登り道になりそれに連れて人波も減っていく。

途中で僅かパラパラときたがこれが今回唯一の水滴攻撃だった。階段道は熊鷹社で左折、T字路を右で稲荷山四辻に出る。この辺りもまだまだ観光客が多い。

稲荷山へは更に階段道だが、トレイルはここから脇に山腹の道に入る、とたんの我々だけの



世界になった。●空ながら見事な紅葉も見せる平坦路から少し下り、高貴な方々の御廟群から泉涌寺前に。街中に出て今熊野観



音寺に寄るが、この境内が京都らしい赤(朱)の彩りが素晴らしいものである。もう暫く時間が欲しかったくらいであった。

街中の道をトレイル案内標柱に従って抜けて再び山道へ、この時期にしては気温も湿度も高く歩くには暑いくらいである。

見通しのない登りをひとまず最高点を超えた所、尾根道の交差点で昼食。ベンチは先客だったので道脇でお店を広げた、いつもの日帰り山行の気分だ。そこから下りになって車道に、国道1号を横断地下道で越して清水山へ向かうが、ここも山に入る前に



ちょっと清水寺に寄道をする。正面ではなく裏側からのだが、舞台の対面する側な絶好の展望台である、秋色

を前景にして、舞台からあふれてこぼれ落ちそうな人の群れが見渡せる。舞台からよりこちら側の眺めの方が明らかに清水寺らしい絵になる風景だろう。ひとしきり賑やかに写真撮りもして、少し戻って清水山の道へ、242と高くはないが寺と山では大違い、人のいない頂だった。少し下った先で大きく開けた東山山頂公園に出て気持ち良い広場で休憩。

駐車場もあって何台もの観光車が止まっている。近接の青蓮院門跡の見頃の紅葉見物に来ているようだ。

それでは我々もと、境内に足を踏み入れてここでも今が見頃の京都の紅葉を楽しませてもらった。



トレイル

は徐々に町へ下るようになって栗田口で街になる。蹴上駅は近くだが、今日はここから宿へ向かう。平安神宮～琵琶湖疎水～京大病院近接の和風ビジネス旅館で今日、明日と素泊り連泊である。近所の居酒屋でおばんざい風つまみで乾杯から鍋～雑炊コースとなって、宿で更に二次会は変わらずで、オヤスミナサイ…

明日はちょっと長めの歩きだ。

11/21 今日中日は当然長い距離になるので街時間としては少し早め？の7時に宿を出る。琵琶湖疎水に沿って京都美術館脇から、船を台車に乗せて運ぶためのインクライン(傾斜鉄道)に出てレールの残る軌道跡を歩く。寺町京都ではあるが、寺社文化だけではなく暮らしに直結した文化遺産に触れられたのはうれしかった。



蹴上駅から続きのトレイルに戻る。

七福思案処に向けて日向宮大神宮に、天照大神を祀った京都の伊勢と



も言われる由緒ある神社で、紅葉も素晴らしいものがある。神社の奥から天岩戸をくぐって山道の交差点とな

っている七福思案処へ。時々街並を見下ろしながら、杉の樹林や痩せた尾根など歩き慣れている山道を行く感じで徐々に大文字山に登っていく。

大文字山頂三角点はガスっていることもあるが展望はなかった。毎日のように登っていると



言う地元の高尾ハイカーにシャッターを頼み、大文字焼きの火床へ向かう。

トレイルの道は山頂手前から下って哲学の道経由で銀閣寺に出るのだが山ヤ？は山頂踏みたいし火床も見たいので銀閣寺まではトレイルと違う道を歩くことにする。

尾根道を下ると20分程で火床に出る、ウワーッ！、素晴らしい！！送り火の部分の山肌がきれいに刈り込まれ、手前に紅葉のパッチワークを配して、当然だが京都市街全てが見渡せる広大な眺望が広がっている、その

昔から行われてきた火だる火の交点の火床には仏像の祠が祀られおくり火を大切にしていることもうかがわれる。



1200年の歴史を持つ京都の伝統を守るの意地と誇りを感じられるようだ。ひとしきり大展望を楽しんで火床から登山道を銀閣寺へ下って行く。途中、にぎやかな幼稚園児の団体と行き違いメンバーから思わずカワイーッ！（みんな孫を思い出しちゃった??）



落葉を敷き詰めた気持ち良い千人塚を過ぎ、ウットリするようなモミジの色付きを見つつ銀閣寺の門前へ、一

気に人の波である。哲学の道(トレイル)に合流して白川疎水通の石垣に腰掛けてランチになった。

街から山へとつなぐトレイル、秋の京都という特典が付いているものの何とも楽しい歩きである。



さて、後半は比叡山へ向けての歩きとなる。浄土寺橋から右方へ進み、バプテスト病院Pから大山祇神社へ、そしてこの先がコースが入組んでおり分かりにくかった。右回り(本コース)・左回り(サブコース)があり右沢道の本コース行くが沢の詰め付近で旧ル



ート案内されており、少し戻って尾根に取り付く道を登ったが、これも本コースの一本東の尾根で白幽子旧

跡を經由する新ルートのようなのである。いずれはこの新ルートが本ルート可していくのではないだろうか？新ルート入口にも快適な登山道に育てましようと思ったしね(・\_・)と、いきなり急登になっている小尾根に取り付くが直ぐに普通の登りになる。本トレイルの尾根に合流して、ジグザグにいくつかの〇〇童子像を過ぎて瓜生山301に、小さな社のある静かな山頂だ。室町時代には度々城郭が築かれ…云々、と案内板もあるがあまり馴染みがないこともあるがいまいち良く理解出来なかったって、ただアタマも老化が進んでるだけかあ(～;) )

瓜生山の先の白鳥山を越し北へ向きを変える尾根上をトレイルは続く。落葉がアクセントになった顕著な尾根(痩せ気味)、市街を見下ろす展望地などを通過していく。やがて名の通り石の鳥居のある石鳥居に着く。この先から比叡山に向けて登っていくことになる。一息入れてからよし行こう！一旦下って沢を渡って登りが始まる。



一登りで水飲対陣跡の石碑にでる、修学院離宮へ下る道を分けて再び落葉の道を登って行く。やはり京都の人々がお山と崇める？比叡山、ずっと登りが続く。登り切れば今日の行程は完了だが、このラストピッチは今日の一番の登りになった。

沢から300m余を登り切って2日目ゴールのケーブル比叡駅に。オツカレー！

観光客となってケーブルカーで下山。電車を出町柳へ、歩いて宿へ向かう途中で夕食も済ませ、宿での夜会もあって、さあ明日は最終日、秋の京都のトレイルを楽しもう！



11 / 22 ケーブルカーの始発に合わせて宿を出る。未明は雨だったようだが、すっかり雨上がりの晴れた空がうれしい。鴨川沿いから出町柳駅、比叡山鉄道で～ケーブルカーと乗り継いでケーブル比叡駅へ。ここから大原までが今日の行程で、トレイルの北山コースの東部を歩くことになる。



しばらくは比叡山の中を歩くが有料エリアを避けてコース設定されているようである(当然

か)。しばらく林道のような道を観光気分ですく。

標高もあるので木々は葉を落として冬準備も始まっているが、見下ろす山々は秋色満載の色模様が美しい。



いわゆる比叡山頂(大比叡848m)はパスしてトレイルを辿る。比叡山境内なの

で道も良く周囲の黄葉が陽に輝いたり爽快感もあって心地良い。緩く下ってから車道を橋で渡って山王院、ナガイ参道の石段を下って浄土院、その先でトレイルは石段を下るようになっているがこれも有料エリアを避けるためかも。で下ってから右にはっきりしたトレースを行ったのが間違い、リングとなってまた浄土院に戻ってしまった。イヤー、皆さんゴメンナサイ! 今度は下り石段を行かずに有料エリアの遊歩道をそのまま



ま進み、釈迦堂へ出た。比叡山ドライブウェイをくぐり、車道沿いのトレイル進んで玉体杉に着く。日当たりも良く眺望もある高みで丁度良いので、昼食にする。我々だけの憩いである、ここにいるとあの街の雑踏は別世界のようで世界的観光地にいると

は思えない。

さて、あと二山超せとゴールへの下りになる。

食後、緩く下って峰辻(横高山登山口)から今日初めての急登、標高差は80m余だが薄い踏跡と急な傾斜にフーッ! 767mの横高山でこの日唯一のハイカ



のグループに出会った。樹林の道を一旦鞍部へ下り70m程登って水井山へ。トレイルは更に北に向かって小さく登降して高度を下げて行くが、左右は杉・桧の美林で奥多摩辺りよりもきちんと手入れされているように思える、北山杉の産地が近いからかも知れない。

下った仰木峠は四辻で左右にも道が延びている、我々はトレイルを大原方面へ進む。



しばらくで大原BSへ下る東海自然歩道と分れボーイスカウト道を戸寺へ



下る尾根道に入る。樹林帯の急な下りを一気に下り小沢の橋で平坦になって、森の道を緩く下

っていくと坂本登山口にでた。山道は終り戸寺の町を抜けて国道に出て今回のトレイルは完了した。

3日間96,000歩、約44kmの歩きは紅葉に癒され雨にも遭わず京都の歩きを満喫できた。次があれば北山コースNo.24(戸寺町)からつなげていきたい。

意外と多くの方に参加してもらえ感謝しています。

もし次があればまた御参加ください。

(記&写真・涌井 良明)

(写真提供・宮崎 敏男)